

学校だより

第21号
令和7年度

いつも心にあいうえお

令和8年2月26日(水)

発行：那覇尚学院高等専修学校

文責：校長 初鹿野修

新年餅つき会：新しい年の始まりを祝うとともに、日本の伝統文化である餅つきを体験し、生徒と職員との絆を深める 2026年 1月21日(水) 1-3時間目



借用物ではありますが、うすと杵を使い餅つき開始
餅米と水の量で微妙に持ちのきばえが違います。
2回目が少し焦げが出たため、大河君の一声、「**黄金色の餅だ。**」で、またまたパワーアップ。
いいできの餅のできあがり。

専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー・英米コースの学生の皆さんが、餅の匂いを嗅ぎつけたか(?)、遊びに来てくれました。その後、同じ専門学校のこども未来の皆さんがきてくれ、専門学生との餅を通しての交流も出来ました。
きなこやのり、砂糖醤油などでたくさん食べてくれました。



第1回研修・研究

- 目的：①後期の課題研究及びホームルーム
んできた「自ら設定したテーマ」
をまとめ、発表することで主体的
る。
- ②課題の設定、情報収集、検証・分
いう一連の探求過程を振り返り、
力・問題解決力を高める
- ③発表と質疑応答を行うことで、コ
力や多様な視点を受け入れる態度
- ④進路選択に向けて、自分の興味開
認し、将来の学びにつながる気づ
※1年生は個人研究の内容を発表する



発表会

活動を通して取り組
について学習の成果
に学ぶ姿勢を育成す
析、考察、まとめと
論理的思考力・表現
コミュニケーション能
を養う。
心や得意分野を再確
きを得る



←
大河君
→
佑仁君



沖尚中からは、屋比久校長先生、金城中からは中3の時の担任の先生が参加していただきました。また、大城学院
長、乾部門長、下地学院主席補佐、仲嶺事務局長、千里先生、保護者お二人も参加していただきました。感謝。
内容と本人のコメントは次号で報告します。